

ICD-11 国内適用に向けた動向について

1. 経緯

- ・ 第 7 回 ICD 部会（平成 30 年 8 月）
我が国における ICD-11 の公的統計への適用に向けて議論
- ・ 第 21 回 ICD 専門委員会（平成 30 年 12 月）
ICD 改訂の概要
和訳作業の詳細な方針の検討
- ・ 日本医学会及び日本歯科医学会を通して各学会へ和訳の意見照会を依頼
（平成 30 年 12 月）
- ・ WHO が ICD-11 を採択（令和元年 5 月）
- ・ 第 22 回 ICD 専門委員会（令和元年 9 月）
和訳作業の進捗状況報告、進め方の確認や整理すべき事項の共有

2. 和訳作業の進捗及び今後の進め方

- ・ 和訳作業については、2018 年 6 月時点版として WHO より提供を受けたファイルをベースに開始している。
- ・ ICD-11 の更新ファイルが適宜 WHO から提供されており、各学会から頂いている和訳意見の整理と並行して、最新版のファイルへの移行作業を行ってきている。
- ・ ICD-11 ブラウザについて、WHO の運用方法が徐々に明確になっており、ブラウザとファイルとの関係性を踏まえて、再度ご確認頂くファイルを作成している。（次回ご確認頂くファイルは、以前各学会に和訳意見を記入して頂いたファイルとは、構成等が異なる予定）
- ・ 準備が整った章から、順次、当該章の和訳意見を提出頂いた学会に改めて確認依頼を行う。
- ・ 今後、公表予定のレファレンス・ガイドの更新版や、未だ作成されていない特定製表用リスト、ウェブサイトを利用する上で必要なその他の情報や MMS の解説文（Description）等の取り扱いや作業方針については、WHO の動向を踏まえつつ、対応する。